

# SunShine



サン・シャイン ～太陽のように明るい心をもって～

名古屋市立弥富小学校

10月20日(火)、今年度初めての授業参観を行いました。ソーシャルディスタンスの観点から教室一杯に机が配置してあるため、多くの教室では、廊下から参観していただくことになりました。参観者を各家庭お一人とさせていただきましたが、廊下はかなりの密状態でした。ご不便をおかけし、申し訳なく思っていますが、コロナウィルス感染症拡大防止のためと多くの保護者の皆様にはご理解いただき、ご協力いただきましたことを感謝しております。

この授業参観の折に、4・5・6年生と保護者の皆様を対象とした「自殺予防講演会」を行いました。今年、7年前に最愛の息子さんを言葉の暴力による自死で失ったお母さんにお越しいただき、言葉の大切さや命の大切さについてお話いただきました。今回の講演会の内容を多くの保護者の方に知っていただきたく、その一部ではありますが紹介をさせていただきます。

## 自殺予防講演会

…皆さんの教室ではどうですか、「うざい」「きもい」「死ね」という言葉が飛び交っている状況は、ありませんか。言っている方は、本当に死んでほしいと思って言っているわけではないのです。自分の心の中のもやもやを晴らすようにその言葉を相手に投げつけてしまう。言葉って、魂をもっているんです。言霊って言ってね。言葉は、魂をもっているから相手の心にどんどん入って行って、時には、鋭いナイフのように相手の心を突き刺すんです。言葉で、人の命を奪ってしまうことだってあるんです。現実にもそういうことが起こっているということを知ってほしいと思います。

あなたの発している、あなたのその言葉で、人の心を傷つけていないかなっていうことを考えてほしいのです。「傷つける言葉、傷つける言葉って、じゃあ、なんて言ったら良いの？わたしが平気だと思って言った言葉、ひょっとしたらあの子は傷ついちゃうかもしれない。じゃあ、なんて言ったらいいか分からないよ。」もし、そんな風に思った子がいたら、私はね、相手の子が、笑顔になる言葉を言ってあげるといいと思います。思わず笑顔になっちゃう言葉。自分がうれしいなあ、言われて気持ちいいなっていう言葉、そんな言葉をどんどん頭にため込んで、相手の気持ちを想像しながら声を掛けてあげてほしいんです。

こうやってたくさんの人と生活していると、クラスの中にだって気が合わない子もいるよね。ついついむかついちゃう子。「みんな友達」そんなの無理。「みんなと気が合う」そんなの無理。だってみんな色々な考えをもっているし、みんな色々な環境の中で育っているから。でも、気に入らないからと言って、自分の考えと違うからと言って、相手の心を攻撃してしまうのは、正しいのかな。どうしてその子がそんなことを言うのか、どうしてその子がそんな行動をするのか、相手のことを攻撃するのではなくて、お互いに笑顔でいるためには、どんな風に自分が行動すれば良いか考えれば、みんなが笑顔で生活できると思います。…

命って、自分のものだよね。自分のものだけれどもあなただけの命ではないんです。あなたは「おぎゃあ」って生まれてきました。生まれた時は、一人でご飯は食べられないし、おトイレだって行けないし、何にもできない。その何にもできないあなたを、あなたの周りにいる大人が、あなたのおうちの人が、夜寝る間も惜しんで、おむつを替え、ミルクをあげ、それであなたは大きくなってきたんだよ。今ここにいるんだよ。だからね、あなたの命は、あなたのものであっても、あなただけの命ではないということをお忘れしないでほしいんです。あなたのことを大切に思っているその人が、あなたが突然いなくなってしまうたら、どんなに悲しむか考えてほしいのです。…

辛いことって誰にでもあるよ。悲しいこともたくさんあるよ。でも、大切なことは、辛いことや悲しいことを心にため込まないこと。辛いときは「辛い」って言っていいんです。無理な時は「無理」って言っていいんです。心の中に、あなたの辛さをいっぱいいっぱいため込んで、ある時、心がポキって折れてしまったらどうしようもない。折れちゃう前に、あなたの辛さ、悲しみ、苦しみを少しずつ少しずつ、外に吐き出していってください。…

(講演内容を一部抜粋)

講演の後、全盲の歌手、大石垂矢子さん作詞の「地球のダイヤモンド」を視聴しました。「地球のダイヤモンド」は、YouTubeで視聴できます。

## 講演を聞いて



自分の命の大切さが分かった。いやな事があっても一人でかかえこまずに、だれかに話そうと思った。自分がいなくなったら、悲しむ人がたくさんいる、自分の命は、自分だけのものじゃない事がとてもよく分かった。 4年

歌をきいて、「一人一人の命って、とても大事なものなんだな」と、思いました。講演を聞いて、悲しいことがあったら、人に話したりすることがいいと分かりました。 4年



「地球のダイヤモンド」という曲は、つらいときに元気をくれるすばらしい曲だと思いました。つらいときは、だれかに相談したり、ノートに書いたりして、すっきりさせた方がよいことを知りました。命は、世界に一つしか無いので、大切にしたいと思います。 5年

命の大切さや重さ、命をもっていることの幸せが何よりも大切なんだなと思いました。また、自分をそばで支えてくれている人たちがいるからこそ、今の自分はここにいますので、この命を精いっぱい大切にしたいです。 5年

講演を聞いて、何気ない一言で人の命を奪ってしまうことを知り、「言葉は考えて使わないといけないな」と改めて思いました。講演をしてくれた方の話を聞いたり、歌をきいたりしたとき、とても安心したような、温かい気持ちになりました。 6年

もし辛くなったときは、自分のことを大切に思ってくれる人のために生きるということに共感しました。また、人が言われたら傷つくことは言わないようにしようと思いました。 6年



コナン君の名言に「言葉は、刃物なんだ」という言葉がありました。ぼくは、それを聞いたとき、あまり心にささりませんでした。でも、実際に言葉で亡くなってしまう人がいて、そのお母さんが言うので、ぼくの心にすごくさりました。 6年

いつも当たり前だと思っていた日々が、とても大切なものだ気付かされました。そして、言葉は相手を笑顔にし、そして、傷つけるものだ分かりました。これからは、一日一日を大切に、相手を笑顔にできるような言葉をたくさん言えたらいいなと思いました。 6年



## 保護者の声

- ・ 当たり前の日常は、有ること難し、「有り難いこと」の連続だと気付かされました。家に帰って、言葉の大切さ、気持ちを閉じ込めないこと、色々なことを伝えようと思います。
- ・ 優しい語り口調で、大切なことを丁寧に話され、心に染みました。今日早速子どもたちと話をしたいと思いました。
- ・ 貴重な経験を拝聴することができ胸一杯です。友達同士の日々の気軽な言葉、それを笑顔にする言葉に。家族の中でも、自分の周囲でも忘れないようにしたいと思います。
- ・ つらいよ。しんどいよ。ということ伝えられるよう子どもと話し合う時間をとりたいと思います。つい日常に追われて、待ってあげたり聞いてあげたりすることを忘れてしまうことがあります。我が身を振り返る良い機会になりました。
- ・ 辛い経験をされ、その気持ちを抑えながらも、同じことが起きないために活動をされていること尊敬します。子どもに「あなたは、大切なんだ」と伝え続けたいです。
- ・ ご自分の悲しい体験をお話されるのは、本当に辛いことだと思います。ですが、そうしていただいたことにより、親子ともにたくさん学ぶことができました。家族みんなで話し合いたいと思います。
- ・ 息子が講師の方をじっと見て、真剣に話を聞いている姿を見て、涙が出そうでした。何気ない毎日を大切にしたいです。
- ・ 親にとって一つ一つの言葉にとっても重みがありました。これから本格的に始まるであろう反抗期。今日お聞きしたことを少しでも参考にしながら、前向きに過ごしていきたいです。